

平成29年度学校評価 コメント要約

■ 1 教育方針・学校経営について

1	弘前高校の生徒に求められる教育への意見
---	---------------------

■ 2 施設・設備について

1	ロッカー設置に関する要望（7件）
2	冷暖房設備に関する意見（8件）
3	食堂に関する要望（1件）
4	図書館の利用時間に関する要望（1件）

■ 3 学校生活について

1	生徒への指導に関する意見（6件）
2	クラス編成に関する意見（2件）

■ 4 家庭との連携について

1	緊急連絡に関する意見・要望（3件）
2	行事予定表に関する意見
3	進路に関する情報提供に関する意見

■ 5 学習指導・授業の質・教員について

1	課題の実施状況についての意見・要望（3件）
2	考査や成績に関する意見（2件）
3	教師の授業に関する意見（4件）
4	教師の指導方法に関する意見（19件）
5	成績不振者への対応に関する意見（2件）

■ 6 学校評価について

1	学校評価の質問事項に関する意見・要望（2件）
---	------------------------

■ 7 学校行事・ねふたについて

1	学校行事の連絡に関する意見。
2	修学旅行に関する意見（2件）
3	ねふた制作に関する意見・要望（8件）

■ 8 部活動について

1	部活動の活動時間に関する意見（13件）
2	部活動の指導についての意見（2件）
3	公欠者への授業の手だてに関する要望

■ 9 服装容儀指導・安全指導について

1	服装に関する校則への要望（4件）
2	安全指導に関する意見（2件）
3	SNS利用への指導に関する意見

■ 10 進路に関する指導について

1	特定の大学進学への固執を感じられるという意見（8件）
2	進路指導全般に関する意見（6件）
3	文理選択、科目選択に関する意見・要望（3件）

■ 11 模試・講習について

1	模試実施後の活用に関する意見
---	----------------

■ 12 講演・講話について

1	講師選出に関する意見（4件）
---	----------------

学校に対する様々なご意見やご要望を頂き誠に有り難うございました。

関係分掌より

【施設・設備について】

◎ロッカー設置に関する要望について。

廊下・教室内への設置は、消防法に抵触する恐れがあり、防災・物理両面から困難です。今後もより良い校内環境整備のため、議論を深めて参ります。

◎冷暖房設備に関するご意見について。

数年来、冷房設備設置を進めてきましたが、校内における電力使用可能量は限られております。現在校内電灯のLED化は9割を超え、今後も電力使用量を減らす努力を継続して参ります。また、使用開始時期についても気温の変動に応じた柔軟な対応に努めて参ります。

【家庭との連携について】

◎緊急メールの配信を緊急以外の情報発信等に活用してほしいという要望について。

本校における緊急メールの使用目的は、緊急性の高い休校等に関する連絡と考えてます。しかしながら、登録割合が生徒7割程度、保護者8割程度の状況であるため、確実に連絡が行き届く状況ではありません。また、広範囲に通学圏をもつ本校では、台風等の自然災害等で交通機関の途絶が予想される場合の判断や対応は自己判断を基準とします。自分の命を自分で守ることのできる生徒を育みたいと考えているためです。以上のことから、緊急メールを緊急以外の情報発信に使用することは、今のところ考えておりませんので、本校ホームページ等で行事予定や学校行事の写真記録等をご覧ください。

【学習指導・授業の質について】

◎宿題の量が多すぎるとのご意見について。

課題(宿題)の量については、毎年、1学年の保護者からご意見が寄せられます。本校の教育目標には「自学自習」が掲げられていますが、入学当初から自己に必要な学習内容や学習量を見極めて学ぶことのできる生徒は多くはありません。学習したことをしっかり定着させるためには、多少なりとも課題は必要と考えます。ただ、学年内で課題量を調節したり、行事等を踏まえて生徒の負担になりすぎないような配慮を今後も続けて参ります。

◎定期テストの平均点が低すぎるとのご意見について。

定期テストは学習内容の定着度をみるテストですので、平均点が低ければ心配になることは理解できます。平均点は難易のバランスや問題量に左右されますが、弘高生であればこのレベルの力が求められるという視点での作題をしています。テスト後のフォローは各教科で工夫しているところですが、得点や作題に対して生徒自身が納得がいけない場合や学習についての個人的な質問や相談などは遠慮なく教科担当者にしてください。また、学校側では校内外の教員研修等を実施しながら、「学問の面白さ」を伝えられる授業の実践を今後も目指して参ります。

【教員について】

弘高教員という自覚とそれに伴う指導力向上に努めるとともに、生徒一人一人に寄り添いながら「持って生まれたものを深くさぐって、力強く引き出す人」を育むことができる教員を目指し、学習指導、進路指導及び生徒指導に係る研修の充実に取り組みます。

【学校行事・ねぶたについて】

「ねぶた」を含め学校行事は、学校生活において学業だけでなく豊かな人間性を育むことを意図した経験、体験をさせる意味合いがあります。また集団行動や人間関係など将来社会生活を営む上で糧となるような経験をすることもできます。そのような意味で多少の辛い思いをしたり、苦しい思いをすることもある訳ですが、それが貴重な経験になると考えているところです。

【部活動について】

本校の部活動は他の多くの高校と同様に、任意加入の活動です。しかし限られた時間の中で本校の目指す高いレベルの学業と部活動を両立させることは大変難しいことであり、それを自ら選択している生徒は学校にとっても貴重な存在と考えております。そのためできるだけ学業に向かう時間を確保できるよう部活動の時間を設定しています。活動時間を平日は19:00、休日は16:00までとし、週1回の休養日をとるようにしています。また練習が終わったら速やかに帰り、次の行動に移るように指導しています。

【服装容儀指導・安全指導について】

休日の部活動は、チームジャージでの登下校を許可しています。その他は原則制服での登下校となります。制服について変更したい場合は、生徒大会で発議することが前提となります。夏服についても、女子はベストや盛夏服などのバリエーションがあります。またどうしても寒い場合は冬服の着用も認めるなど、本校の服装規定は柔軟になっております。

安全指導について、今年は自転車の事故が増加しました。その中でも運転技術の未熟さからくる自損事故が多く、特に入学間もない1年生の自転車の乗り方の指導に取り組んでいきます。

【その他】

SNSによるトラブル、事件は本校に限らず社会的に問題となっています。本校は校内におけるスマートフォン等の使用は禁止しておらず、TPOを踏まえた使い方を考える指導をしています。一般的に他校の状況と比較して、本校では大きなトラブルは起こっていないと認識していますが、いくつかのトラブルも起こっています。また表面に出てこないのがSNSのトラブルの特徴で、大きな事件につながる危険性も懸念されます。本校でも機会をみては注意喚起し、外部の講師を招いて「情報モラル教室」を開くなどの取り組みをしています。しかし最も大事なのは生徒一人一人が家庭を含めて、SNSの正しい知識と意識を持つことと考えます。

【進路に関する指導について】

進路指導について、自発的に進路を決定できる良いアドバイスをいただいているというご意見と、大学合格のための文理選択や進学指導になっているのではないかとご意見をいただきました。教員は生徒の現時点での学力だけでなく、適性やこれからの伸びも考えて進路指導しています。アドバイスはしますが最終決定は生徒本人だと考えています。今後も面談等で情報共有をしっかりと行い、よいアドバイスができるように努めていきます。

【模試・講習について】

模試実施後の勉強についてご意見をいただきました。生徒は解答解説を参考に自学しています。教員は解説が必要であると判断した場合、授業等で解説をしています。

【講演・講話について】

講師の選定についてご意見をいただきました。生徒の興味関心はひとつではなく、生徒の可能性は無限大です。3年間の弘高生活の中で生徒は講演や講話を何回も聞く機会があります。良い刺激を与えてくれる多方面の第一人者を講師として招き、3年間の中で複数回の講演を聞くことにより、生徒には心で感じているような考えを巡らせて欲しいと思います。今後もよりよい講師の選定に努めていきます。

【総括】

保護者の皆様から、施設・設備、学習指導、進路指導、生徒指導等に関する貴重なご意見を頂戴いたしました。それらの意見につきましては、担当分掌を中心に検討し改善を要すると判断した場合は改善してまいります。本校の教育活動について十分周知いただけるように情報発信には努めてまいります。不明な点がございましたら随時ご相談ください。また、我々教職員は生徒・保護者から信頼される教育活動を精一杯行っていくつもりですので、より良い学校作りのため皆様からのご意見をお待ちしております。今後ともよろしくお願いたします。